

すべてのアプリ



Minecraft Education



Mixed Reality ポータル
システム



Mozilla Thunderbird

1. Thunderbirdの起動

メニューから Thunderbird のアイコンをクリック。
Thunderbird を立ち上げます。

既存のメールアドレスのセットアップ

現在のメールアドレスを使用するには、そのアカウント情報を記入してください。
Thunderbird が自動的に有効なサーバ設定を検索します。

あなたのお名前

あなたのお名前

メールアドレス

sample@example.com

パスワード

●●●●●●●●

パスワードを記憶する

手動設定

キャンセル

続ける

1-1. 初めて Thunderbird を利用する場合

1. メイン画面が立ち上がります。
2. お名前・メールアドレス・パスワードを入力します。
3. 「手動設定」をクリックします。

➡2. アカウントの設定に進んでください。

別のアカウントをセットアップ

メール アドレス帳 カレンダー チャット
ニュースグループ

別のプログラムからインポート

Thunderbird に他のメールプログラムからメールメッセージやフィード購読、設定、メッセージフィルターを、一般的なアドレス帳形式からアドレス帳をインポートすることができます。

データをインポート



既存のメールアドレスのセットアップ

現在のメールアドレスを使用するには、そのアカウント情報を記入してください。
Thunderbird が自動的に有効なサーバー設定を検索します。

あなたのお名前
あなたのお名前 ⓘ

メールアドレス
sample@example.com ⓘ

パスワード
●●●●●●●● ⓘ

パスワードを記憶する

手動設定 キャンセル 続ける

1-2. すでに Thunderbird を利用中の場合

1. メイン画面が立ち上がります。
2. 赤の枠線内「メール」をクリックしてください。

1. お名前・メールアドレス・パスワードを入力します。
2. 「手動設定」をクリックします。

手動設定

受信サーバー

プロトコル: **IMAP** ▼

ホスト名: sv***.xserver.jp ここをクリックすると
IMAP/POP3 が選択できる

ポート番号: 993 ▲▼

接続の保護: SSL/TLS ▼

認証方式: 通常のパスワード認証 ▼

ユーザー名: sample@example.com

送信サーバー

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 465 ▲▼

接続の保護: SSL/TLS ▼

認証方式: 通常のパスワード認証 ▼

ユーザー名: sample@example.com

[詳細設定](#)

再テスト

キャンセル

完了

空欄のフィールドは Thunderbird が自動検出を試みます。

あなたの認証情報はローカルのあなたのコンピュータにのみ保存されます。

2. アカウントの設定

IMAPとPOP3はメールの受信に使われる通信プロトコルです。OutlookやThunderbirdをはじめとする、メールソフトにおける受信に用いられています。メールアカウント設定の際に、IMAPもしくはPOP3のどちらかを選択していただく必要があります。スマートフォンの普及で複数デバイスからアクセスすることが当たり前になった現在は、IMAPが主流です。

IMAP とは

IMAPとは、メールがサーバー上へ送られ、一時的なキャッシュ(保存データ)をパソコン上で管理する仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 会社や自宅のパソコン、スマートフォンなど複数のデバイスから同じメールアカウントへ同時にアクセスできる。
- パソコンが壊れても他のパソコンやスマートフォンなどのデバイスから確認できる

デメリットは以下の通りです。

- インターネットに接続していないとメールが閲覧できない
- メールは削除しない限りサーバーから消えないため、メールサーバーの容量が圧迫される

POP3 とは

POP3とは、パソコン自身へメールをダウンロードする仕組みです。

メリットは以下の通りです。

- 自身のパソコンへ保存されるため、一度受信したメールはインターネットにつながってなくても閲覧できる
- サーバーには保存されないため、サーバー容量を気にしなくて済む ※オプションでメールをサーバー上へ残しておくこともできる

デメリットは以下の通りです。

- 一台の端末でしかメールの受信ができない
- メールソフトを使用している端末が故障してしまうとメールが見られなくなる

2-1.IMAP の場合

赤枠内に必要事項を入力します。

※受信サーバー/送信サーバーに入力する項目は下表を参照

手動設定

受信サーバー

プロトコル: IMAP

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 993

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

送信サーバー

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 465

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

詳細設定

再テスト キャンセル 完了

空欄のフィールドは Thunderbird が自動検出を試みます。

あなたの認証情報はローカルのあなたのコンピュータにのみ保存されます。

受信サーバー	
プロトコル	IMAP
ホスト名	アカウント一覧に記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***.xserver.jp
ポート番号	993
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	アカウント設定するメールアドレス

送信サーバー	
ホスト名	アカウント一覧に記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***.xserver.jp
ポート番号	465
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	アカウント設定するメールアドレス

手動設定

受信サーバー

プロトコル: POP3

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 995

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

送信サーバー

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 465

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

[詳細設定](#)

再テスト キャンセル 完了

空欄のフィールドは Thunderbird が自動検出を試みます。

あなたの認証情報はローカルのあなたのコンピュータにのみ保存されます。

2-2.POP3 の場合

赤枠内に必要事項を入力します。

※受信サーバー/送信サーバーに入力する項目は下表を参照

受信サーバー	
プロトコル	POP3
ホスト名	アカウント一覧に記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***.xserver.jp
ポート番号	995
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	アカウント設定するメールアドレス

送信サーバー	
ホスト名	アカウント一覧に記載の「メールサーバー」を入力 ※サーバーパネル内「サーバー情報」に記載のホスト名と同一です。 例) sv***.xserver.jp
ポート番号	465
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	アカウント設定するメールアドレス

✓ 次のアカウント設定が、指定されたサーバーを調べるにより見つかりました:

手動設定

受信サーバー

プロトコル: IMAP

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 993

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

送信サーバー

ホスト名: sv***.xserver.jp

ポート番号: 465

接続の保護: SSL/TLS

認証方式: 通常のパスワード認証

ユーザー名: sample@example.com

詳細設定

再テスト キャンセル **完了**

空欄のフィールドは Thunderbird が自動検出を試みます。

あなたの認証情報はローカルのあなたのコンピュータにのみ保存されます。



✓ アカウントの作成が完了しました

このアカウントを Thunderbird で使用できるようになりました。
関連するサービスへ接続したりアカウント設定の詳細を変更することにより、さらに使いやすくなります。

あなたのお名前 rikimaru@trbjp POP3

アカウント設定 エンドツーエンド暗号化 署名を追加
スベルチェック辞書をダウンロード

リンクしたサービスへの接続
別のサービスをセットアップして Thunderbird を最大限に活用しましょう。

CardDAV アドレス帳に接続 LDAP アドレス帳に接続
リモートカレンダーに接続

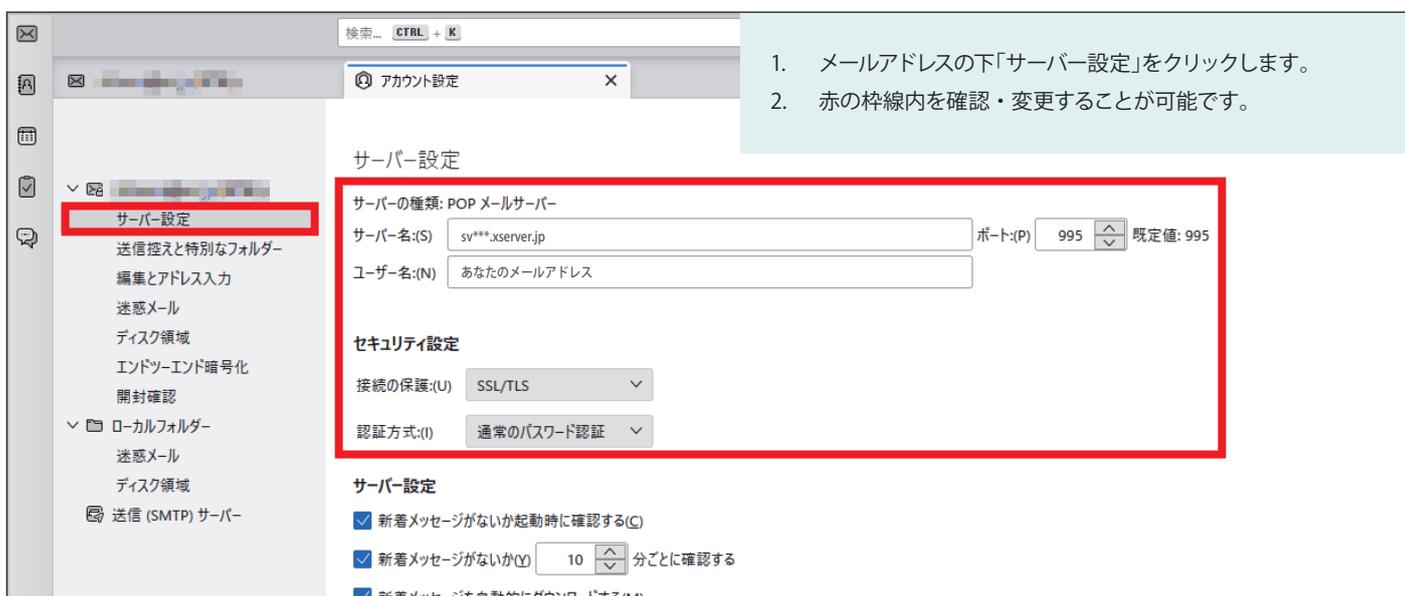
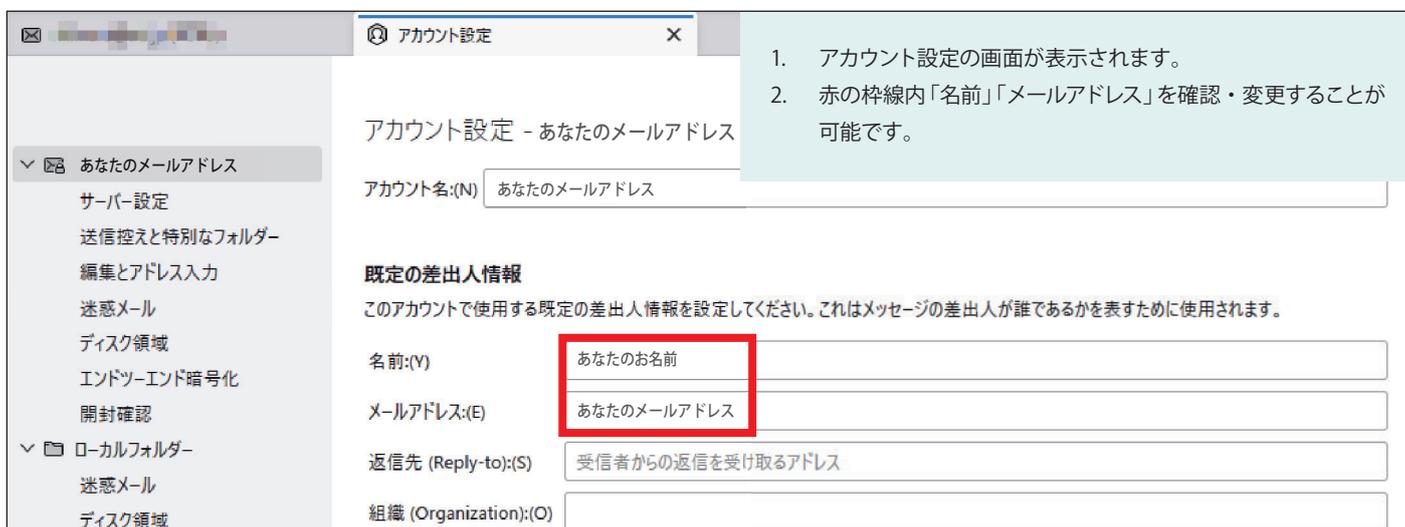
完了

3. アカウント設定の完了

1. 「次のアカウント設定が、指定されたサーバーを調べるにより見つかりました」と表示されたことを確認します。
2. 赤の枠線内「完了」ボタンをクリックします。

1. 「アカウントの作成が完了しました」と表示されます。
2. 赤の枠線内「完了」ボタンをクリックして設定完了です。

4. アカウント設定を確認・変更したい場合



検索... CTRL + K

アカウント設定

送信 (SMTP) サーバーの設定

複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバーを選択し、このリストの既定のサーバーを使用します。

あなたのメールアドレス	追加...(D)
	編集...(E)
	削除(M)
	既定値に設定(T)

- メールアドレスの下「送信 (SMTP) サーバー」をクリックします。
- メールアドレスを選択し「編集」をクリックすると送信 (SMTP) サーバー画面が表示されます。



送信 (SMTP) サーバー

設定

説明:(D) |

サーバー名:(S) sv***.xserver.jp

ポート番号:(P) 465 既定値:465

セキュリティと認証

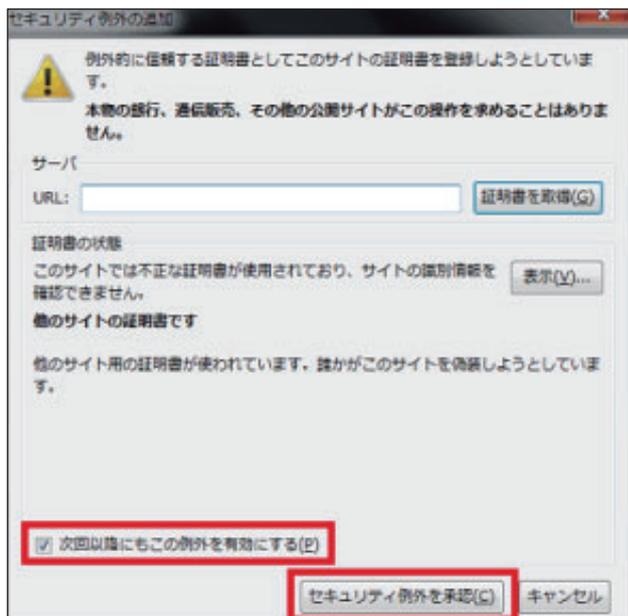
接続の保護:(N) SSL/TLS

認証方式:(I) 通常のパスワード認証

ユーザー名:(M) あなたのメールアドレス

OK キャンセル

- 赤の枠線内が確認・変更可能です。
- OK を押すと前の画面に戻ります。
- 「アカウント設定」タブを閉じると確認・変更は完了です。



5. 「セキュリティ例外の追加」が出てきた場合の対処法

お使いの環境によって、メールの送受信時に「セキュリティ例外の追加」と警告メッセージが出てくる場合があります。

メールサーバーが正しいものと証明書される「セキュリティ証明書」が何らかのエラーで正しくないと判断される事があるためです。

警告メッセージが表示されている場合、メールの送受信が出来ません。

ここでは「セキュリティ例外の追加」と警告メッセージが表示された場合の対処法を説明します。

1. 画面左下の「次回以降にもこの例外を有効にする」にチェックを入れます。
2. 画面右下の「セキュリティ例外を承認」をクリック
3. 「セキュリティ例外の追加」メッセージは表示されなくなります。